

平成 30 年度前期授業アンケート結果について

IR 室

平成 30 年 7 月に実施した授業アンケート結果は、以下のとおり。

1. アンケート内容

学生への授業アンケートは従来から実施していたが、今年度から科目ごとの予習・復習の時間を回答させることとした。そしてその結果を、講義、演習、実習の授業形態別に分けて把握することとした。

今回は学修時間の把握のみであるが、今後 1 年後の学生の成績評価と学修時間の関連性について分析を進める方針である。そしてその結果を授業の質の改善へとつなげて行く所存である。

2. 授業形態別の学修時間

- (1) 美容デザイン専攻 1 年では、演習に伴う学修時間が比較的少ないほかは、授業形態ごとの違いは大きくはなかった。一般的に学修時間は、実習＞講義と言われるが、本学の学生では講義に伴う学修時間が 2 時間を超える学生が 1 割超おり、実習とほぼ同じ水準である。
- (2) エステ専攻 1 年では、演習に伴う学修時間が少ないことのほか、実習で学修時間が比較的多いことが判明した。
- (3) 国際美容コミュニケーション専攻 1 年では、実習での学修時間の確保が課題である。
- (4) 美容デザイン専攻 2 年では演習と講義に伴う学修時間の確保が喫緊の課題である。
この要因としては就職活動が早期化しており、学生が十分な学修時間を確保できない可能性も想定される。一方、実習では 2 割以上の学生が 2 時間以上の学修時間を確保していることが判明した。
- (5) エステ専攻 2 年では、実習のアンケートの回答数を増やすことが課題。
- (6) 国際美容コミュニケーション専攻 2 年では、演習と講義に伴う学修時間の確保が喫緊の課題である。

3. 課題

本学では学生に iPad を配布し、授業のほか授業アンケートにも活用している。しかしながら持参しない学生もあり、結果的にアンケートの全体数の底上げにつながらない。来年度に向けて、アンケート総数を増やすことが課題である。

具体的には、授業時間の後でも iPad を活用してアンケートに応えるよう、教員が学生を指導することも必要と考える。

以上

30 年度前期授業アンケート結果（数値は％表示）

美容デザイン専攻 1 年

学修時間	なし	1 時間未満	1 時間～2 時間	2 時間超
講義	25. 4	32. 8	30. 5	11. 3
演習	46. 6	36. 4	10. 9	6. 0
実習	18. 6	36. 1	34. 3	11. 1

エステ専攻 1 年

学修時間	なし	1 時間未満	1 時間～2 時間	2 時間超
講義	47. 4	30. 3	11. 8	10. 5
演習	82. 0	12. 8	5. 1	0. 0
実習	19. 2	37. 0	26. 1	17. 8

国際美容コミュニケーション専攻 1 年

学修時間	なし	1 時間未満	1 時間～2 時間	2 時間超
演習	28. 3	54. 1	17. 6	0. 0
実習	52. 6	47. 4	0. 0	0. 0

（注）国際美容コミュニケーション専攻 1 年の前期は講義なし

美容デザイン専攻 2 年

学修時間	なし	1 時間未満	1 時間～2 時間	2 時間超
講義	40. 0	32. 2	8. 7	19. 1
演習	66. 7	14. 4	4. 4	14. 4
実習	23. 7	36. 8	15. 8	23. 7

エステ専攻 2 年

学修時間	なし	1 時間未満	1 時間～2 時間	2 時間超
講義	0. 0	100. 0	0. 0	0. 0
演習	66. 7	33. 3	0. 0	0. 0

（注）エステ専攻 2 年の実習はアンケート集計できず

国際美容コミュニケーション専攻 2 年

学修時間	なし	1 時間未満	1 時間～2 時間	2 時間超
講義	62. 5	25. 0	12. 5	0. 0
演習	54. 5	9. 1	18. 2	0. 0

（注）国際美容コミュニケーション専攻 2 年前期の実習は 1 科目のみ。アンケート集計できず